

コンサドーレの冒険



札幌市医師会
手稲前田腎泌尿器科

小山 敏 樹

一昨年、16年ぶり2度目のJ1残留を果たしたわが北海道コンサドーレ札幌（以下コンサ）でしたが、昨年の最終成績はJ1で堂々の4位。ACL出場まであと勝ち点2という、今まで見たことのない新しい景色を見ることができた年でした。

表題は、昨年11月17日に開催された札幌市医師会創立71周年記念式典の中で行われた、(株)コンサドーレ代表取締役社長CEO・野々村芳和氏の記念講演の演題名です。北海道医師会会員の皆様の中にも、私のようなコンササポーターが多数おられるかと思いますが、今回の講演は札幌市医師会員しか出席がかないませんでしたので、私の記憶に残る範囲で、まだあまり知られていないと思われることを中心にお伝えしたいと思います。

野々村氏（以下社長）が医師会の依頼で札幌で講演をするのは今回が初めてではなく、十数年前にも一度あったそうです。現役時代にそのような依頼に応える可能性は低いと思われるので、引退後解説者の時代だったかと思われます。

今回の講演は、まずコンサの歴史について、次いでサッカークラブの営業規模の話、自分が社長として行ったこと、最後は現在のコンサの選手紹介という内容でした。

コンサの歴史：エレベータークラブだったが、日本を代表する選手や指導者も在籍した。元日本代表監督の岡田武史さんからは勝ち方を学んだ。昔は岡田さんに頭が上がらなかったが、最近は連絡をくれたりする。その岡田氏に、今まで指導した中で一番すごい選手は誰か尋ねたら、エメルソンだと。年齢詐称は有名な話だが、今の中国サッカー界にも同じことをしている選手がまだいるらしい。エメルソンは今年引退したが、練習に遅刻しそうになってヘリコプターで練習場に来る動画を最近見た。相変わらずハチャメチャ。そのほか、今野泰幸、フッキ、中山雅史、小野伸二、稲本潤一（敬称略）の逸話（ほとんど既出）。

クラブの営業規模と順位：社長のいつもの話どおり、お金がないと勝てません。J1の売り上げ昨年トップは浦和の80億（人件費26億）、コンサは売り上げ27億（人件費12億）で下から2番目だったが、何とか11位で残留できた。社長就任初年度は売り上げ10億しかなく、J3に落ちてもおかしくないレベルだったが何とかここまでは来た。

自分がやっとうまくいったこと：①アジアを意識

した取り組み。レ・コン・ビン～チャナティップ。②パートナー探し。博報堂。J1パートナーが博報堂から電通に変わった時点で社長自身が飛び込み営業で説得してクラブパートナーになってもらった。今年ホームゲームすべて地上波中継できるのは博報堂のおかげ。ダイヤモンドヘッド。AI、デジタルなどのプロとしてパートナーになってもらった。③ペトロビッチ監督（以下ミシャ）。少ない予算で勝つために呼んだ。前任の四方田さんの降格人事の説得には3日かかった。ミシャが来る前は、全体練習後の自主練は守備練ばかり。いいゴールが決まっても守りのまずさの指摘ばかりでこれでは楽しくないし、だんだん下手になる。今はナイスゴールでミシャはブラボーと言ってくれる。選手もブラボーと言ってほしくて攻撃的になり、うまくなる。トヨタや日立、日産に比較して、お金のないクラブが4位にいるのは奇跡。日立（柏）は昨年4位でACLに出て今年残留争いに巻き込まれているが、コンサもACLに出るとそうなる可能性はある。でも出られるものなら出た方がいいかな、と思っている。

現在のコンサの選手紹介：ジェイ（イングランド代表にもなったのにプレミアでなくてJでプレイしているのはどこか変だから。性格が本当に面倒臭い。36歳なので生き残りに必死で、契約見据えて去年は社長にプレッシャーかけてきたが、今年は毎日ミシャ詣でしている）。都倉（ジェイのパスでオーバーヘッドで点決めたときまでは仲良かったが、フリーのジェイにパスしなかったことあり、そのことでジェイが怒って1ヵ月くらい不仲だった）。宮澤（ミシャがリベロに抜擢。日本人の発想ならその起用はあり得ない）。深井（ザッケローニも注目して、ケガしている時も社長に状態を聞いてきていた）。福森（デブです。体脂肪13～14%にもかかわらず左足はすごく代表に呼ばれてもおかしくないレベルだが、ハリルなら呼ばれない。でもデブでもやれる）。ソンユン（兵役まであと数年なので今免除に向けて必死）等々。

最後のメッセージ「コンサを気にして、体感して、生活に少し入れてください」。